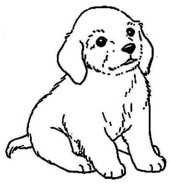
~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~

# 対面リーディング通信

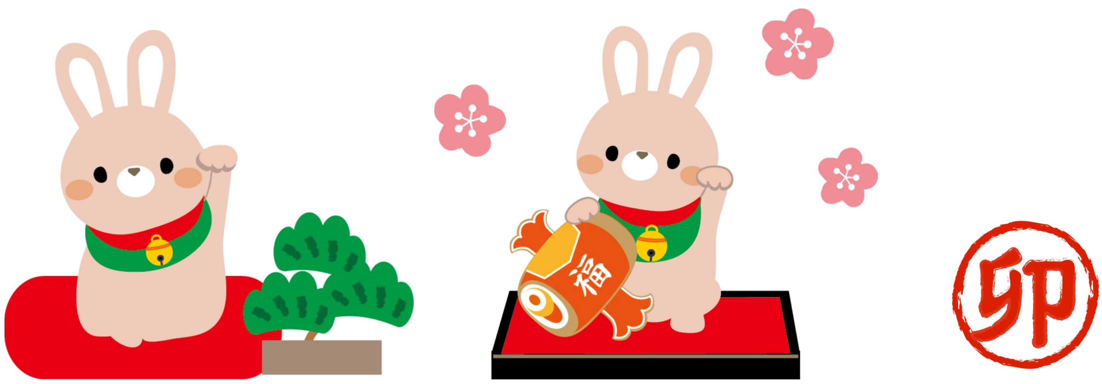
2023年2月1日 発行　　　第２０９号（隔月刊）

~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~



**2023年**
**2月**

## 本年もどうぞよろしくお願いいたします




　新型コロナウイルスの感染拡大から早くも３回目の新年となりました。
　ご承知の通り、現在もZoomミーティングを使って対面リーディングを行っていますが、以前と同じように同室での対面を望む声もいただいております。

　感染状況が落ち着くことが前提ですが、今年は対面の方法や回数制限などの変更を検討していきたいと考えています。情報文化センターのホームページでも当館のコロナ対策について随時情報を更新しておりますのでご確認下さい。
　感染の拡大は現在も続いています。皆様くれぐれもご自愛下さい。

### 今月号の主な内容


| | | | |
|---|---|---|---|
| 誌上勉強会 | 目次 | 木村　謹治 | 2 |
| 私のふるさと | 近つ淡海（おうみ） | 小川　真奈美 | 4 |
| 寄り道・回り道 | 鶏 soba 座銀 | 木村　謹治 | 5 |
| 誌上勉強会 | 方言コスプレ | 木村　謹治 | 6 |
| 情報発信 | 漢字あれこれ（その１３） | 澤井　稔 | １０ |
| 情報発信 | 早口言葉に挑戦！ | 福田　直樹 | １１ |
| お知らせ | | | １２ |

木村（きむら） 謹治（きんじ）

# 対面リーディングの実際

## ― 目次 ―

「対面リーディングの実際」を書き始めて10年がたちました。なかなか筆が進まず、原稿の締め切り日が近づくと憂鬱でしたが、過ぎ去ってしまうと10年って早いものですね。

新しくボランティアに参加された方や、過去のものを参考にしたいと、ありがたいお言葉と共に目次がほしいとの希望をいただきました。

ここに記載したものはすべて日本ライトハウス情報文化センターのホームページから見ることができます。

### 対面リーディング通信の見方

1. 日本ライトハウス情報文化センターを検索していただき、「刊行物」をクリックします。

2. 「対面リーディング」をクリックします。
3. ご希望の年月を選びクリックします
4. さらに表示されたファイル名をクリックすると表示されます
5. 閲覧いただいた後、ご意見、感想をいただければ幸いです

| | | |
|---|---|---|
| 208号 | 2022-12 | 声がこもる |
| 207号 | 2022-10 | 間（ポーズ）の取り方 |
| 206号 | 2022-08 | わたしの自主練 |
| 205号 | 2022-06 | 声帯を鍛える |
| 204号 | 2022-04 | 「十」と「七」の読み方 |
| 203号 | 2022-02 | 固有名詞の読み方 |
| 202号 | 2021-12 | どのように読みましょうか |
| 201号 | 2021-10 | 消滅危機言語 |
| 200号 | 2021-08 | 日本語の乱れとは |
| 199号 | 2021-06 | 喉（のど）を開く |
| 198号 | 2021-04 | 声が通らない人・通る人 |
| 197号 | 2021-02 | 舌の筋トレ |

196号　2020-12　　戦争と障害者
195号　2020-10　　聞きやすい音読を目指して
194号　2020-08　　母音の無声化
193号　2020-06　　（休稿）
192号　2020-02　　鼻濁音

191号　2019-12　　ぎなた読み
190号　2019-10　　ハンセン病と視覚障害者
189号　2019-08　　対話
188号　2019-06　　絵を説明する ２
187号　2019-04　　肺活量
186号　2019-02　　のどのケア

185号　2018-12　　早口言葉
184号　2018-10　　空耳
183号　2018-08　　空目
182号　2018-06　　原文に忠実とは
181号　2018-04　　言葉を説明する
180号　2018-02　　差別語

179号　2017-12　　オノマトペ（擬音語・擬態語）
178号　2017-10　　複数の読み方がある言葉
177号　2017-08　　アクセントとイントネーション
176号　2017-06　　姓と名の間に「の」の入る人名・入らない人名
175号　2017-04　　（休稿）
174号　2017-02　　原文に忠実とは１　漢字の説明

173号　2016-12　　正確に読むとは ーローマ字ー
172号　2016-10　　正確に読むとは ー 変化していく日本語 ー
171号　2016-08　　言葉を考える２ アクセント
170号　2016-06　　言葉を考える１ 標準語・共通語・地方語
169号　2016-04　　「音訳」と「朗読」を考える
168号　2016-02　　腹式呼吸

167号　2015-12　　取扱説明書を読む その４
166号　2015-10　　取扱説明書を読む その３
165号　2015-08　　取扱説明書を読む その２
164号　2015-06　　取扱説明書を読む
163号　2015-04　　絵画を説明する
162号　2015-02　　説明上手と説明下手

158号　2014-12　　新聞を読む
157号　2014-10　　地図を読む
156号　2014-08　　対面リーディングの利点を活用して
155号　2014-06　　図表の読み方 ４
154号　2014-04　　図表の読み方 ３
153号　2014-02　　図表の読み方 ２

152号　2013-12　　図表の読み方 １
151号　2013-10　　数式の読み方

# 近つ淡海（おうみ）

図書・情報係　小川（おがわ）　真奈美（まなみ）

私の実家は琵琶湖のほとりにあります。近くには鳥人間コンテストをしている湖水浴場があります。

夏に泳いでいると、翼を広げ頭の上を悠然と滑空する人力飛行機や、失速し水の中にまっさかさまに、無惨にも折れ落ちていく飛行機の姿が見られます。

中継や救助のために、何台ものボートがものすごいスピードで後を追っていく光景も圧巻です。

また砂浜では、レース後に参加学生の反省会が執り行われ、涙を流しながら、あるいは歓喜の声をあげながら、仲間を琵琶湖に放りこむシーンも見られ、何かに打ち込むっていいなぁと思います。

さて、滋賀県は何かというと他府県の方に下に見られがちで、車のナンバープレートの滋賀の「滋」の字の下の部分がげじげじ虫に見えることから、げじげじナンバーと揶揄されたりします。

そんな時に言い返す決めゼリフが「琵琶湖の水、とめたろかー」です。

しかし最近テレビ番組のケンミンショーで、実は琵琶湖の水は国が管理しており、さらに京都方面に流れる琵琶湖疏水も、管理者は京都市であることから、滋賀県には琵琶湖の水をとめる権限がないことが紹介され、滋賀県民は口惜しい思いをしています。

そんな滋賀ですが、冬には小白鳥が飛来する湿地があり、自然豊かな地である他に、姉川の合戦の跡地や、信長の妹のお市の方が入った温泉があったり、加藤清正が陣で腰かけた石や、古色蒼然とした安土城跡、甲賀には忍者屋敷があったりと、なかなか歴史好きにはたまらない地でもあります。

図書係として最後にお薦めしたいのは、この地を舞台に書かれた万城目学さんの「偉大なる、しゅららぼん」という本です。湖と共に住む特殊な能力を持った一族の話ですが、最後には琵琶湖の水がモーゼの十戒のように真っ二つに別れ、その中を主人公が竹生島まで馬で疾走するという心躍る小説です。面白いのでぜひ読んでみてください。

竹生島には、実際に今津や彦根、長浜の港からクルーズ船で渡れます。島の階段を登っていくと荘厳な歴史ある寺があり、そこから見る琵琶湖の景色は絶景で、願をかけた「かわらけ」を投げることもできます。

ゆったりとした雄大な水の前で、どうぞのんびりしに来てみてくださいねー。

「偉大なる、しゅららぼん」　万城目学著　集英社（2011/4/26）

# 寄り道・回り道

レポーター：木村（きむら） 謹治（きんじ）

## 鶏 soba 座銀（ざぎん） 本店

【所在地】　大阪市西区江戸堀1-19-2
【電話番号】　06-6447-5661
【行き方】　大阪メトロ四つ橋線　肥後橋駅 徒歩８分（160m）
【営業時間】　ランチ 11:00～15:00　／　ディナー 17:30～21:30
【定休日】　なし
【URL】　https://silver-grape.com/

曜日や時間帯に関係なく、行列ができるラーメン店として有名な「鶏 soba 座銀」へ行きました。情文本館を出て左へ、土佐堀通りを進みます。１つ目の信号の次の辻を左へ。少し歩くと行列が出来ているのですぐに分かります。また、情文の行事で玉水会館に行かれた方は、肥後橋商店街を通り抜け、右に曲がり会館を通り過ぎた十字路にあります。

まずは、入口そばに置かれた券売機で食券を買います。迷ったら「鶏 soba」920円にしましょう。私もこれを選びました。

「鹿児島県産 桜島鶏のみで丁寧に仕込む濃厚白湯スープ。雑味が無く旨み溢れる自信作。鶏を最大限に活かす独自の製法で抽出。提供直前に煮干しスープと鶏脂で深みと香りを演出しています。まるでポタージュのようなクリーミーな口当たり。『座銀』のスープを一番感じてもらえる一杯です」と能書きには書かれています。

店内は思ってた以上に落ち着いた雰囲気で女性の一人客も何人かおられました。

鶏 sobaは、黒い丼の端にドデカい豚肩肉のレアチャーシューが乗っています。

驚いたのはカンナくずを思わせるようなものがトッピングされていました。子どもの頃、工事現場で大工さんが削っていたカンナ捌きを思い出します。紙のように薄く、木のいい香りが漂っていました。

実は、ごぼうをピーラーで薄く削ったものをカラリと素揚げした、いわゆるごぼうスナックでした。

鶏とごぼうの相性っていいですねぇ。香ばしさとごぼう特有の土の香りがいいアクセントになってくれます。油っぽさはなく、サクサクの食感もいい感じ。

スープの表面はエスプーマ（液状の食材に亜酸化窒素を混ぜて泡状にする料理法）状に泡立ち、具材は水菜、紫玉ねぎ、スープの中で見えませんが、穂先メンマ、鶏ムネ肉のチャーシュー、座銀の看板のフライドごぼう、それからトッピングの燻製玉子です。

麺は細いストレート麺で、コシはそんなに強くないけど麺肌がツルツルで歯切れの良い麺でした。

白濁したスープは、しっかり鶏の旨味が全面に出て、「おぉう」と声が出るほどの美味しいスープです。

口当たりはトロンとゆるい粘りがある感じで鶏系が好物の人にはたまらん美味しさです。

濃厚なのにくどさは全くなくて飲みやすくどんどんレンゲが進み、ついついスープばかり飲みたくなってしまいます。さすがに行列の出来る店だけあると感心しました。

時間があれば店から玉水会館の方面に歩いて下さい。

会館前の綺麗に刈られた植栽の中に頼山陽（らいさんよう）生誕地の碑文が見られます。

木村 謹治（きむら きんじ）

# 対面リーディングの実際 54

## ― 方言コスプレ ―

関西人でもない人が「なんでやねん」と言ってみたり、九州人でもないのに「〇〇でごわす」と言っているのを聞いたことはありませんか。

最近、方言をまねして話すという現象がよく見られます。テレビの中では特に顕著です。その土地の出身者ではなくても、「おもしろさ」や「男らしさ」を演出するために、方言を言葉にまぜて使うのです。

こういった現象を、田中ゆかり著『「方言コスプレ」の時代 ニセ関西弁から龍馬語まで』では、「方言コスプレ」と名付け、その使われ方や方言イメージの変遷をたどっています。

今回はこの図書を中心に、若者の方言の捉え方を考えていきましょう。

「方言コスプレ」とは、文字通り「方言を用いたことばのコスチューム・プレイ」のことです。

例えば、つっこみ役を演じるために関西弁を話したり、男らしさを表現するために九州弁を使ったり、方言からイメージされるステレオタイプ［注1］を自分の「キャラクター」として一時的に演出するために方言を使います。

コスチュームを着脱するように、キャラクターを着脱するので、「コスプレ」というわけです。

特にメールやSNSといった打ち言葉［注2］で使われ、正確な方言ではなく、「〇〇やん」や「〇〇だべ」といった文末表現、「なんでやねん」や「そうやねん」といった定型表現による、「ニセ方言」が主に使われています。

打ち言葉は、主に日常的コミュニケーションに使われる。文字だけでは表しにくい「キブン」を伝えるために、方言を活用しました。打ち言葉と「方言コスプレ」はとても相性が良く、インターネットの普及とともに土地に依存しない「方言コスプレ」用法は広がっていったのです。

通常のコスプレは、アニメやゲームのキャラクターなどの真似をして『なりきり』ますが、「方言コスプレ」というのは、方言を交えた言葉を使うことで別の自分になりきることです。そうすると、より相手に気持ちが伝わったり、場を和ませたりできます。

こういった「方言コスプレ」が流行する背景には、方言を「かっこいいもの」「楽しいもの」とポジティブに捉え、娯楽として使う「方言おもちゃ化」の現象があると、著者はいいます。

「方言おもちゃ化」とは、「方言を目新しいもの、おもしろいもの、価値あるものとして、それが生育地方言であるか否かを問わず、表現のバリエーションを広げたり、楽しんだりすることを主目的に採用・鑑賞する」という「方言」の受容態度と言語生活における運用態度のことであると書かれています。

「方言コスプレ」は、娯楽としての側面だけではなく、話し相手との距離を縮める「親密コード」として使われる、という側面があります。

まさに「ことばの仮装」ですね。その場を楽しく、和らげようという意図を持って、「方言」をコミュニケーションツールとして使っているわけです。

「なんでやねん！」を標準語に直して「どうしてなの！」と表現しても違和感を感じます。
方言を使うことで、表現がまるくなったり、あるいはするどくなったり。 方言だからこそ感情の微妙なニュアンスが伝わることもあるかと思います。
関西に住んだことがないから関西弁は話さないのではなく、気に入った表現があればどんどん色んな地方の方言を使って「ヴァーチャル方言」を楽しんでいるのです。

非首都圏の出身者で、生育地方言を持つ人たちにとっては、自分たちや、上の世代が話す方言は、地元とのつながりを示す「親密コード」としての機能を持っています。
しかし、そういった方言を持たない首都圏出身者は、ニセ方言を「親密コード」として使っているのです。
実際に、「方言コスプレ」をするのは首都圏の方が多いそうです。

2000年に、研究者グループ間で「関西弁が日本全国の大都市でどのように受け入れられているのか」というプロジェクトが立ち上げられ、全国7都市を対象に調査を実施しました。
昔から「上方 vs 江戸」という構図があり、東京人は関西弁を、関西人は東京弁を敬遠していました。2000年当時も、首都圏に住む50～60歳代の人は関西弁を受け入れなかったのですが、何と40歳代を分水嶺に、30歳代、20歳代と若くなるにつれて、受け入れる人が増えていたんです。
当時の40歳代といえば、1980年代の漫才ブームの洗礼を受けた世代なんですね。つまり、首都圏の若い世代にとって関西弁とは、テレビで盛んに流れている「よしもと弁」で、流行りの一種「サムシングニュー（何か新しいもの）」として受け入れられたわけです。
例えば、自分を面白く見せたいときや、相手の冗談につっこむときなどにわざと関西弁を使うのは、そうしたイメージが定着してきたからかもしれません。

子どもの頃「お母ちゃん今日の晩ご飯なに？」「魚の炊いたんや」こんな会話がされていました。「炊いたん」は日常語として使っていましたが、料理名に「〇〇の炊いたん」なんて見たこともありませんでした。
これも「方言コスプレ」、京都らしさ、優雅さ、差別化などを目的に意図的に使われるようになったのではないでしょうか。
そう言えば、メニューには「〇〇の炊いたん」はありますが、「〇〇の焼いたん」とか「〇〇の揚げたん」とかは見たことがありませんね。
料理研究家の杉本節子さんは「おばんざい」について以下のように書かれています。
『おばんざい』という言葉ですが、今日のように使われるようになったのは、ここ半世紀ばかりのことだと思います。私が生まれ育ったのは、祇園祭の山町で、江戸時代から９代続く家です。界隈は、町衆文化が色濃く継承されてきた中心地であり、習慣や言葉使いなどには保守的な気風があるように思います。そんな環境の中で、日常の会話のなかに『おばんざい』という言葉を、祖父母（明治後期生まれ）、親戚縁者（明治前期生まれ）を含めて、大人たちの口から発せられたのを一度も聞いたことはありませんでしたから、この言葉への馴染みはありませんでした。
中学生か高校生の頃（昭和50年代半ば）、テレビの番組で『京のおばんざい』という表現を知り、祖母に「うっとこ（自家）では、おかずのことをおばんざいていわへんの。」と訊ねてみたところ「おかずていうてるえ、昔から。」という返事でした。また、中京区の鉾町の親戚にも同じ質問をしたところ「この界隈では、耳慣れん言葉やな。」ということでした。
この言葉が市民権を得るようになったきっかけは、1964（昭和39）年に随筆活動をされていた大村しげさんらがこの言葉を連載記事で使われたのがきっかけのようです。
そして、いわば逆輸入とでもいう形で盛んに料理店で使われるようになりました。

方言は「矯正するべきもの」から「かわいい」へ変遷してきたのです。
方言は、昔からこのようにポジティブに捉えられてきたわけではありませんでした。

学校教育の場では、1950年代から1960年代にかけては標準語教育が重視され、方言使用を抑制し、矯正する、ということが主流でした。

方言を話すと、「方言札」と呼ばれる札を首から下げていなければならない、という罰まで存在していたのです。

しかし、1980年代から1990年代にかけ、方言の価値がネガティブからポジティブへと変わるターニングポイントを迎えます。

このころは、「方言と共通語のバイリンガル状態」という感覚が、人々の間で浸透。そして2000年代に入ると、「方言ブーム」が起こり、「かわいい方言」を扱った書籍が多数刊行されていきます。

こうして、方言の文化財としての価値が上昇していったのです。

それでは、「方言コスプレ」の基礎となる、「方言ステレオタイプ」はどのように形成されていったのでしょうか。

著者は、その形成過程は関西弁を除けばよく分かっていないとしながらも、小説やドラマ、マンガなどの創作物によって、蓄積・拡張・増幅されていったと書いています。

日本の近代文学は、欧州に比べ、方言文学が活発だったようです。

これは、明治から大正にかけては、標準語のよそよそしさに対抗するリアリズムの発露の手段でありましたが、昭和に入るとヴァーチャル方言も出現し、文学の表現手段のひとつとなっていきます。

現代のマンガに至ると、ヴァーチャル（仮想的）方言の種類は、さらに豊富になっていきます。

「龍馬」はいつから土佐弁を話すようになったのでしょうか？

1968年に放映された「竜馬がゆく」で初めて方言がドラマに登場します。

この時はまだ「方言指導」というものは行われていませんでしたが、1980年の「獅子の時代」で初めて「方言指導」がクレジットに現れます。

そしてドラマでは、1983年の「おしん」から初の方言指導が行われています。さらに1990年代後半になると、よりきめ細やかな方言指導が行われるようになっていくのです。

今でこそ坂本龍馬といえば土佐弁を話しているイメージが強いと思いますが、小説などの創作物に現れる龍馬は、かつては土佐弁ではなく、標準語や共通語を話していました。

戦前から戦後しばらくの小説に出てくる龍馬を見てみると、武士や書生が話すような言葉遣いで描かれていたのです。

ようやく龍馬が土佐弁を使うようになったのは、1962年に出版された「竜馬がゆく」が最初です。それでも初めは方言が少なく、物語が進むにつれ、徐々に土佐弁が多くなっていったのです。

創作物に現れる土佐弁の龍馬の影響で、「土佐弁」へのイメージも変わっていきます。

2010年に放送された大河ドラマ「龍馬伝」は、土佐弁へのイメージを固めるのに一役買いました。

「龍馬伝」放送前の調査では、特定のイメージを持たれなかった土佐弁が、放送後の調査では「男らしい」をイメージする方言として浮上してくるのです。

そして、高知や土佐と関わりない場面でも、「男キャラ」を演じる方言として使われるようになっていきます。

## 新方言

コスプレではなく実際に、地方の方言が首都圏へと流れ込んで使われるようになった現象も目立ちます。

例えば、「行くべ」などの「べ」は、もともと東北や北関東近辺、千葉などで使われていましたが、最近は東京都区内や横浜出身の若者でも使うことがあります。

今は全国区で、主に若い層が使っている「～みたく」や「うざったい（うざい）」、「～じゃん」や「ちがかった（違かった）」なども、元来は地方の方言でした。井上史雄・東京外国語大名誉教授は、これらを「新方言」と名づけました。

## ネオ方言

共通語の影響のもとで生まれた新しい方言の形も広まっています。真田信治・大阪大名誉教授が提唱した「ネオ方言」です。

典型例として、「来ない」を意味する関西中部方言の「こーへん」があります。これは、共通語「こない」の影響を受けて、関西方言「けーへん／きーへん（きーひん、とも）」が変化した形だとされます。

関西で伝統的に使われてきた「あきまへんがな」が消えて「あかんやないか」という表現が生じたのも、共通語「だめじゃないか」の影響を受けたものとされます。「あかんやないか」はさらに、「あかんやんか」「あかんやん」という変種を生んでさえいます。

方言は、マスメディアの発達などによって地方では衰退したといわれます。確かにそのような傾向も見受けられますが、近年は都心も含めて比較的若い世代の間で「復権」を果たし、形を変えて生き延び、新たなコミュニケーションツールとして機能しているともいえます。

SNSの発達などによって、文字を使ったコミュニケーションを図る機会が増えた結果、「正しい」アクセントやイントネーションを気にすることなく気軽に「自己装い表現」を用いることが可能になり、これからも増え続けることでしょう。

では、打ち言葉で書かれた図書は、どんな風に読みましょうかねぇ。書かれたものにはアクセント記号は書かれていません。でも、生活に密着した言葉はアクセントやイントネーションが違っていると気になるものです。

最近のドラマや映画は方言指導が行き渡っていて、あまり違和感を感じることは少なくなりましたが、古いドラマや映画を見ると違和感をおぼえます。

但し、すべての方言ではなく関西方言のみが気になります。東北弁や名古屋弁、沖縄方言など関西ではない地方の方言は、何となくイメージは分かるのですが、実際の正しい発音を知らないので気になることはほとんどありません。

関西弁には確かにその単語は実在するものでも、吉本弁のような日頃使わない言葉で話されると、やはり気持ちが悪いと思いませんか。

河内弁の代表的な言葉として、「何さらしとん？」という方言があります。これは、標準語で「何してるの？」という意味なのですが、かなりキツい印象・イメージを与えてしまう言葉です。

河内弁の中には、他にもキツい印象や汚いイメージを相手に与えてしまうような響きの方言が多数あります。これらの河内弁は、ヤンキー漫画やヤクザの漫画に使われることが多いです。

そのため、河内弁を話されている地域に行ったことがない方でも河内弁を聞いたことがあるという人は多いです。

そのため、河内弁はキツい・汚いといったマイナスのイメージを持たれている方もいます。

これが、大阪言葉としてドラマの中で使われていたら、こんなの使っていないと多くの人が思うはずです。

外国の映画には日本語の字幕が付いています。これがなければ楽しむことができません。

ただ、テレビなどで放映する場合、吹き替えをしている場合があります。アメリカ人でもフランス人、インド人、中国人が日本語で会話しているのは通常はあり得ないのですが、特に違和感は感じません。

言葉は、不思議ですね。ちょっとした差に違和感を覚えたり、あり得ないシーンでも、当たり前のように感じます。

こんな事を考えていると、ますます言葉って複雑でいて、面白いものだと思いませんか。

［注1］ステレオタイプ：多くの人に浸透している先入観、思い込み、認識、固定観念、レッテル、偏見、差別などの類型化された観念を指す用語。

［注2］打ち言葉：話し言葉とも書き言葉とも異なる「話し言葉の要素を多く含む新しい書き言葉」で主に、電子メールやLINE、SNSでのコミュニケーションに用いられる特殊な表現。

# 漢字あれこれ（その13）

対面リーディングボランティア　澤井（さわい） 稔（みのる）

## 変わり身読み

ある漢字には変則としか言い様の無い読みが有ります。漢字で書くと目に見えにくいから十分気を付けましょう。

① 酒蒸し　「さかむし」　酒を加えて蒸す料理。
② 目の当たり・目の辺り　「まのあたり」　目の前で見る事。
③ 眼差し・目差し　「まなざし」
目差し　「めざし」　目当ての意味。
④ 目尻　「めじり」　目の外側に当たる方の端。
眦　「まなじり」　〃
⑤ 火照り　「ほてり」　のぼせて顔が赤くなる事。
日照り　「ひでり」　長い間、雨が降らずに水が涸れる事。かんばつ。
⑥ 声高　「こわだか」　大きな声。
⑦ 手繰り寄せる　「たぐりよせる」　両手を交互に使って手元に引き寄せる事。
⑧ 金型　「かながた」　金属製の型で、プラスチック等を成型する物。
⑨ 木霊　「こだま」　樹本の精霊。やまびこ、反響。
谺　「こだま」　〃
⑩ 上絵具　「うわえのぐ」　陶磁器に釉をかけて焼いた上に絵を描く時の絵具。
⑪ 胸突八丁　「むなつきはっちょう」　山登りの時、あと八丁(約900メートル)あたりが難所だと言う。そこで、いちばん苦しい時期の事を言う。
⑫ 風花　「かざはな」「かざばな」　晴天に、風に吹かれてくる雪の事。
⑬ 爪楊枝　「つまようじ」　歯の間の滓（かす）を取る道具。もともと仏教徒の習慣からきたと言われる。
⑭ 稲穂　「いなほ」　稲の穂。
⑮ 手折る　「たおる」　手で折る事。
⑯ 火影　「ほかげ」　火の光。ひかげ。
⑰ 金気臭い　「かなけくさい」　水の中に溶けて含まれる鉄分の臭い。
⑱ 鼻白む　「はなじろむ」　気おくれした顔つきをする事。
⑲ 木洩れ日　「こもれび」　枝葉の間から洩れてくる日光。
⑳ 苗代　「なわしろ」　水稲の種を蒔いて苗を仕立てるところ。
㉑ 木の香　「きのか」　材木の香り。
㉒ 雨合羽　「あまがっぱ」雨天の時に着るカッパ。

よくある例として、人名の「金丸」や「水上」や「木の実」等、いざ読みの段になると迷ってしまい、言い淀んでしまう場合がないでしょうか。見た目にヒントが無いので、咄嗟に判断出来ない不安が有ります。要注意ですぞ。

# 早口言葉に挑戦！

サービス部　福田（ふくだ） 直樹（なおき）

長引くコロナ禍のためマスク生活が続く中で舌や唇の筋肉が衰えて滑舌が悪くなる人が増えています。特に舌の衰えは誤嚥や口臭、虫歯などの原因にもなるので要注意です。

そこでおすすめなのが早口言葉です。早口言葉は簡単にできる遊びですが、以下のように様々な効果が期待されています。

- 舌の運動
- 唾液の分泌の促進
- 口唇、口腔周囲筋力を高める
- 嚥下機能を高める
- 言いづらい言葉を発することで脳を刺激
- 背筋を伸ばして言うことで肺機能を使う

とはいえ遊びなので、あまり難しいことは考えずに楽しんでやってみましょう！

①まずは定番の早口言葉を。懐かしいですね。３回繰り返してください。

- 生麦生米生卵
- 東京特許許可局
- 坊主が屏風に上手に坊主の絵を描いた
- 赤パジャマ黄パジャマ茶パジャマ

②面白い早口言葉。意味は考えない（笑）こちらも３回繰り返しで。

- マグマ大使のママはマママグマ大使
- バナナの謎はまだ謎なのだぞ
- シチュー死守しつつ試食し視聴中
- メール22通中20通が、フルーツジュース抽出中

③関西弁の早口言葉もあります。難しさより面白さ優先ですね。

- あれチャウチャウちゃう？ちゃうちゃう！チャウチャウちゃうんちゃうん？

- あんたあたしのことあんたあんた言うけど、あたしもあんたのこと、あんたあんた言わへんから、もうあんたもあたしのことあんたあんた言わんといてよあんた！
- おっとっととっとってって言っとったのに、なんでとっといてくれんかったん？とっとってって言っとったやん！？（「おっとっと」はお菓子の商品名です）
- うち、うちのうちわで内野をあおぐから、内野は内野のうちわでうちをあおいで。これ、内野とうちのうちうちの話

ご承知の通り、早口言葉は種類がとても多く、本やインターネットでも多く紹介されています。素朴な遊びですが、意外にメリットも多くありますので、たまには童心に返って楽しんでみてはいかがでしょうか。

（参考HPのURL）
- マナラボ
  https://docoic.com/60563
- なぞの森
  https://hisasuke.com/tongue-twister/

## グッズ紹介

・おしゃべりハト時計（タカラトミーアーツ）

以前発売されていたハト時計がリニューアルされて登場です。時報はもちろん、ボタンを押せばいつでも時間をかわいい声で教えてくれます。目覚ましや鼻歌に加え、タイマー機能も追加されました。日常のちょっとした癒やしにおすすめです。

グッズサロンでは便利なグッズをいろいろと取り扱っています。詳しくは情文HPの用具一覧をご覧ください。

# おしらせ

### ・ニポラチャンネルのご案内

YouTubeで配信しているニポラチャンネルは「見えない方、見えにくい方のためのチャンネル」です。iPhoneの基本設定や基本操作、アプリなどを始め、拡大読書機などの関連機器、グッズの使い方の説明、白杖の使い方なども配信しています。

当館での活動の参考にもなると思いますので、是非ご利用ください。

### ・オープンデーについて

毎月１回、第２土曜日（月によっては第３土曜日）に開催している「オープンデー」は、どなたでも参加していただける館内見学会です。時間は13時30分から約２時間で、普段はご覧頂けない製作部門などへもご案内します。参加費用は無料です。

参加ご希望の方は対面担当、または総務係（06-6441-0015）までご予約をお願いいたします。館内見学をしたことがないという方はもちろん、お知り合いで情報文化センターの活動にご興味のある方がおられましたら是非、ご案内ください。

### ・3月31日（金）はサービスフロアの棚卸しを行います。

3月31日（金）は５階サービスフロアの棚卸しを行います。５階フロアは休室となりますので、それに伴い対面リーディングもお休みとさせていただきます。

この春はコロナの捉え方が大きく変わるようです。不安はありますが徐々にマスクも外せるようになるとか。でもすぐそこに花粉のシーズンが…。困ったものです。（F）

日本ライトハウス 情報文化センター
550-0002 大阪市西区江戸堀1-13-2
06-6136-7704（対面専用）
06-6441-0039（サービス部）